

講義科目 : 法学基礎演習	単位数 : 2
担当 : 川上 生馬	学習形態 : 選択科目

講義の内容・方法および到達目標

本講義では、主に民法に関するテーマを各自が自由に設定し、そのテーマに関する判例報告等を行っていただきます。

判例に基づく学習では、問題分析力や日常の中にある法律問題に気づく力、また報告を行うことでプレゼン力等を養うことができます。

このような法的思考能力は、単に法学を学ぶだけでなくそれを生きた知識とするために必要不可欠なものです。

そこで、本講義では受講生が判例報告等を行うことで法的思考能力を習得・修練することを目標とします。

授業計画

- 第1回 ガイダンス ゼミの進め方、自己紹介、成績評価方法等
- 第2回 法律文献の調べ方
- 第3回 判例の調べ方
- 第4回 各班による報告判例決め
- 第5回 報告準備① 判例の読み込み
- 第6回 報告準備② 論文、判例評釈の読み込み
- 第7回 報告準備③ 報告レジュメの作成
- 第8回 報告準備④ パワーポイント資料作成
- 第9回 第1回報告 報告班による報告と質疑応答
- 第10回 第2回報告 報告班による報告と質疑応答
- 第11回 第3回報告 報告班による報告と質疑応答
- 第12回 関心のある民法のテーマ探し
- 第13回 関心のあるテーマに関連する判例研究
- 第14回 報告準備⑤ 各自8分程度の報告資料の作成
- 第15回 第4回報告 各自による関心のあるテーマに関する報告

教材・テキスト・参考文献等

報告判例決めの際には、附属図書館に所蔵されている判例集、法律雑誌等を利用するため、特定の教材の指定は行いません。

成績評価方法

報告内容80%、質問内容20%で評価を行います。

全授業回数数の3分の2以上の出席がない場合、成績評価の対象外とします。

その他

あらかじめ民法Iを履修していることが望まれます。